



特集



# 地域でつくる安全

「菊池安全安心パトロール隊」発足

世界でも有数の安全大国といわれてきた日本。しかし、近年では大小にかかわらず犯罪の数は急激に増え、新聞やテレビなどから毎日のように痛ましいニュースが飛び込んでくるようになりました。

安全大国という名も薄れつつあります。私たちが犯罪に巻き込まれることは、もはや他人事ではなくなってきました。

安全で安心して暮らせる世の中に戻すために、私たちにできることはあるのでしょうか。

今回は「安全」について考えます。

(左) 7月19日(火)に菊池市民広場であった、発足・出発式で「安全安心まちづくり宣言」を述べる堀野代表と隊員たち  
(下) 式で、有働博秀菊池警察署長から、車両に付ける青色回転灯を受け取る各隊の隊長

## 総勢92人の有志

菊池市内一円の安全と安心を確保するために、防犯活動をするボランティアのグループ「菊池安全安心パトロール隊」が、7月19日(火)に発足しました。

菊池・七城・旭志・泗水の各総合支所を中心に、それぞれの地元有志の隊員が、警察や行政と連携しながら地域や住民に密着した防犯活動を行っています。

隊員は92人で、菊池南隊(23人)、菊池北隊(24人)、七城隊(12人)、旭志隊(13人)、泗水隊(20人)の5つの隊で構成されています。



## 情報交換を密にして 早めの対応から防犯へ

このパトロール隊の大きな役目のひとつは、小・中学生の登下校時の安全確保だと考えています。また、少年の非行防止や空き巣、自動車、オートバイなどの盗難防止にも努めます。

そして、最終的には総合的な地域の防犯を図りたいと考えています。

隊員構成は、市民有志、PTA役員、消防団員、少年補導員、防犯連絡所、学校職員、市役所職員です。

実際には、年間を通して、各地域の5つのパトロール隊がそれぞれの地区で、小・中学生の登下校時などに時間を合わせてパトロールし、子どもたちを安全に見守っていききたいと思っています。

また、青少年の補導については、夜間でも、その時々に応じて補導などを行っていきます。

長期に渡ることですが、活動の都度、問題があれば各隊の隊長を招集して協議をし、警察や行政から助言を受けながら効率のよい活動をしていきたいと思っています。

そして、各隊の連絡調整会議を開いて、横のつながりも深め、情報交換をしながら、早め早めの対応をして犯罪を防ぐ手立てを考えていきたいと思っています。

発足には、警察や行政に大



青色回転灯を付けた各隊の車両

## 県内最多の隊員と車両

7月19日(火)に菊池市民広場であった発足・出発式には、パトロール隊員や福村市長、北田市議会議員、有働菊池警察署長など約120人が出席しました。

福村市長から代表隊員に委嘱状が、有働菊池警察署長からパトロール実施者証と青色回転灯がそれぞれ交付されました。

車両は全部で9台あり、8台が菊池市の公用車、1台が菊池地区防犯協会連合会の車両で、菊池南隊と同北隊に3台、他の隊に2台ずつ配備されました。人員、車両の数は県内最多です。

隊員は、これまで各隊ごとに警察からの指導講習を受け、登録された車両に乗り、青色回転灯を点灯させながら防犯パトロールを行います。

出発式では堀野代表が「安全で安心して暮らすことができる地域社会の実現に貢献します」などと「菊池安全安心まちづくり宣言」をし、隊員たちはそれぞれの車両に乗り込み、早速市内をパトロールしました。



菊池安全安心パトロール隊 代表 堀野誠也さん

「市民有志、警察、行政がひとつになった大きな組織と、青色回転灯を付けた多くの車両でパトロールするのは県内でも初めてだと思うので頑張りたいです」と堀野さん

変お世話になりました。警察や行政、私たち市民が協力をし、なんとかして多発している青少年の犯罪を減らしていきたいというのが私の願いです。

これから活動していく中で、色々な問題が出てくると思いますが「安全で安心して暮らせる地域づくり」を目指していきたいと考えていますので、市民の皆さんのご協力をお願いします。